

ラモー作曲

アクト・ド・バレ

アナクレオン

Anacréon

[演奏会形式/1757年初演/フランス語上演・日本語字幕]

作曲:ジャン=フィリップ・ラモー

台本:ピエール・ジョゼフ・ベルナル



指揮・ヴァイオリン
寺神戸 亮



バロックダンス
ピエール=フランソワ・ドレ



バロックダンス
松本 更紗



アナクレオン
与那城 敬
(バリトン)



愛の神
湯川 亜也子
(メゾソプラノ)



パックスの巫女
佐藤 裕希恵
(ソプラノ)



歌
波多野 睦美
(メゾソプラノ)

合唱・管弦楽
レ・ボレアード
(オリジナル楽器使用)

曲目

ラモー:アクト・ド・バレ《アナクレオン》(全曲)、ルベル:《様々な舞曲》、
コレリ:フォーリア、リュリ:コメディ・バレ《町人貴族》より《イタリア人のエール》、
リュリ:オペラ《アルミード》より《パッサカイユ》ほか

*ピエール=フランソワ・ドレは日本への入国制限の状況により来日できない場合がございます。その場合のチケット代金の払い
戻しはございません。あらかじめご了承ください。

2021 平日がお得!
12.10 (金)
18:00開演
(17:20開場)

12.12 (日)
14:00開演
(13:20開場)

北とぴあさくらホール

JR京浜東北線王子駅北口 /
東京メトロ南北線王子駅5番出口より徒歩2分

※U-25券は25歳以下限定。
入場時に生年月日が分かるもの(保険証、学生証など)をご提示ください。

※北地区民引での購入はお一人様4枚まで。販売は北とぴあチケットオンライン
(要事前登録)・北とぴあ1階チケット売場のみ。売場では東京都北区在住を
確認できるもの(免許証、保険証など)をご提示ください。

SS席	S席	A席	全席指定(税込)	SS席	S席	A席
4,500円	3,500円	2,500円	一般	5,000円	4,000円	3,000円
4,000円	3,000円	2,500円	北区民	4,500円	3,500円	3,000円
2,250円	1,750円	1,250円	U-25	2,500円	2,000円	1,500円

チケット取扱い ※ 北とぴあチケットオンライン
<https://p-ticket.jp/kitabunka>



※ 北とぴあ1階チケット売場
● 窓口のみ(10:00~20:00/臨時休館日は10:00~18:00/全館休館日は休業)

※ チケットぴあ (Pコード: 205-563) <https://t.pia.jp/>
● 電話予約 0570-02-9999 ● セブン-イレブンで直接購入

※ E+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)
● ファミリーマートで直接購入

※ 主催・制作・問い合わせ: 公益財団法人 北区文化振興財団 03-5390-1221
※ 共催: 東京都北区 ※ 助成: 令和3年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業、笹川日仏財団



10月14日(木)
一般発売

アナクレオン

アクト・ド・バレ

新型コロナウイルスの世界的流行はなかなか勢いが衰えず、昨年に引き続きリュリ作曲《アルミード》の上演は今年も叶いませんでした。そこで毎年北とびあ国際音楽祭を楽しみにしてくださっているお客様のために、今年はラモール作曲の1幕もののオペラ《アナクレオン》を上演することにいたしました。お酒が大好きなギリシャの叙情詩人のお話です。歌と踊りを交えてのアクト・ド・バレ。ラモール作品には珍しくバリトンが主役となります。与那城敬さんの素晴らしい歌声を日本の実力派歌手たちが支えます。踊りのほうはフランスで引手数多の実力者、ピエール=フランソワ・ドレさんが来日してくださる予定です。《アナクレオン》での踊りはもちろんですが、前半はリュリ時代のダンスに焦点を当て、松本更紗さんと本場のバロック・ダンスを披露していただきます。お楽しみに！

寺神戸 亮

今回上演する《アナクレオン》

ラモールがオペラ=バレ《アムールの驚き Les Surprises de l'Amour》(1748年初演)を1757年に再演する際、第3幕として新たに作曲した作品が今回上演する《アナクレオン》です。ラモールは別の台本作者とともにもう一つ《アナクレオン》(1754年初演)というアクト・ド・バレを残しています。

オペラ=バレ

フランス・バロック時代のオペラの一ジャンル。リュリ以降作られてきたフランスの正当的なオペラ(音楽悲劇/叙情悲劇)と異なり、喜劇的な題材を取り入れることができました。全体はプロローグと数幕から成り、一貫したテーマを持ちつつも一つの幕ごとに物語が完結するタイプのオペラです。この特性から、ある幕のみを独立させて上演することもできました。

アクト・ド・バレ

ある幕をオペラ=バレから独立させた場合や、もともと1幕もので作られたオペラ=バレ。深刻な物語ではなく喜劇的で親しみやすい題材をもち、1幕のなかに独唱・合唱・バレがほどよく散りばめられているため、気軽に楽しめるオペラとして人気がありました。

ジャン=フィリップ・ラモール

Jean-Philippe Rameau (1683-1764)

バッハやヘンデルと同時代のフランスを代表する作曲家・音楽理論家。50歳までは鍵盤楽器(クラヴィサン)のための魅力的な小品や、荘厳な宗教曲などを作曲。また『和声論』などの理論書を執筆、近代和声理論の基礎を確立するなど大きな功績を残しています。初めてのオペラ作曲は50歳のとき。1733年初演《イポリートとアリシ》を皮切りに80歳で生涯を閉じるまで大小さまざまなオペラを約30作も作曲。《エベの祭典》《優雅なインドの国々》など、優れた管弦楽法が生み出す豊かで効果的な音楽による傑作ぞろいです。最後の作品は《レ・ボレアード》。今回演奏する管弦楽・合唱グループの名前の由来となりました。

寺神戸 亮 (指揮・ヴァイオリン) Ryo Terakado



1961年ボリビア生まれ。バロック・ヴァイオリンの第一人者として、ソリストとして活躍するほか、ヨーロッパを代表する古楽アンサンブルやオーケストラのコンサートマスターなどを歴任。1995年、第1回北とびあ国際音楽祭におけるパーセル《ダイドーとエネアス》で指揮者デビュー。以降、ラモール《エベの祭典》、モンテヴェルディ《オルフェオ》、シャルバンティエ《病は気から》、パーセル《妖精の女王》、モーツァルト《ドン・ジョヴァンニ》などの指揮で絶賛を博し、日本で最もバロック・オペラに精通した貴重な存在として注目を集めている。2015年度、第45回東燃ゼネラル音楽賞(洋楽部門本賞)受賞。デン・ハーグ王立音楽院教授、桐朋学園大学音楽学部特任教授。ブリュッセル王立音楽院、韓国・延世(ヨONSEI)大学でも客員教授を務める。ベルギー在住。



ピエール=フランソワ・ドレ (バロックダンス)

Pierre-François Dollé

フランス出身のダンサー、振付家。2005年より主に古典舞踊を専門として活動し、バロックダンスの第一人者クリスティーン・ベルのバロックダンスカンパニー レクラ・デ・ミューズにソリストとして参加するようになる。以降、レザール・フロリサン、ル・ボエム・アルモニックなど多くの古楽グループとの共演を重ねる。振付家としても活躍し、リュリ(町人貴族)、シャルバンティエ《病は気から》などのコメディ=バレをはじめ、様々な作品やコンサートの振付を手がける。また現在はイレース・フェストと創設したシエ・ファンタジー・バロックの芸術監督・振付家として公演の制作やバロックダンスの研究と普及に努めており、その活動は高く評価されている。



松本 更紗 (バロックダンス) Sarasa Matsumoto

国立音楽大学音楽学専攻卒、パリ市立高等音楽院古楽専攻ヴィオラ・ダ・ガンバ科卒業。バレエ経験を活かし古典舞踊をフランスで学ぶ。2014年よりLe Poème Harmoniqueの舞台に踊りと演奏で参加。その他フランスの主要ダンスカンパニー公演に出演。2018年より拠点を日本に移し、様々な演奏家と共演。カテリーナ古楽合奏団、ロバの音楽座のメンバー。



レ・ボレアード (合唱・管弦楽/オリジナル楽器使用) Les Boréades

合唱

ソプラノ: 佐藤 裕希恵/名倉 亜矢子/広瀬 奈緒
アルト: 久保 法之/眞弓 創一/村松 稔之
テノール: 谷口 洋介/根岸 一郎/福島 康晴/山中 志月
バス: 木村 雄太/小酒井 貴朗/篠木 隆明/山本 悠尋

管弦楽

ヴァイオリン: 寺神戸 亮/高田 あずみ/荒木 優子/秋葉 美佳/
大内山 薫/迫間 野百合

ヴィオラ: 渡部 安見子/深沢 美奈 ユチェロ: 懸田 貴嗣*/高橋 弘治
ヴィオローネ、コントラバス: 角谷 朋紀 フルート: 前田 リリ子/野崎 真弥
オーボエ: 三宮 正満/荒井 豪 ヲファゴット: 永谷 陽子
テオルボ: 瀧井 レオナルド* ヲチェンバロ: 上尾 直毅* *通奏低音

北とびあ国際音楽祭から生まれた古楽オーケストラ・合唱。指揮の寺神戸亮を筆頭に古楽のスペシャリストが集結、特にモーツァルトやフランス・バロックの演奏に定評がある。レ・ボレアードとは、ギリシア神話に登場する北風の神々で、北区から文化の風を吹き起こそうというメッセージがこめられている。

12/10・12/12に予定していましたが「リュリ作曲 オペラ《アルミード》」は、世界的な新型コロナウイルス感染拡大に伴い一部の出演者の招聘が困難となったため、本年の上演を見送ることとなりました。楽しみにされていたお客様には誠に申し訳ありませんが、ご理解賜りますようお願い申し上げます。代わりに、本年はラモール《アナクレオン》を中心とした代替公演を開催いたします。

ほく

北とびあ

東京都北区王子1-11-1
JR京浜東北線王子駅北口
東京メトロ南北線王子駅
下車徒歩2分

至赤羽
JR王子駅
北口
バスターミナル
北とびあ
北口
北口
北口

※車椅子席をご希望の方は発売日より下記お問い合わせ先にてご予約ください
(数に限りあり/SS席・S席のみ取扱い)。
※未就学児の入場はお断りしております。
※託児サービス(2歳以上の未就学児、1人2,000円)をご希望の方は発売日より12/3(金)までに、イベント託児・マザーズ0120-788-222(平日10:00~17:00)へお申込みください
(※定員に達した場合、早めに締め切る場合もございます)。
※やむを得ない事情により出演者・スタッフを変更する場合があります。
※場所により字幕や舞台が見づらいお席もございます。
※開演中に入場される場合は、お求めいただいたお席ではなく、係員がご案内するお席でご鑑賞いただきます。入場までしばらくお待ちいただく場合もございますので、あらかじめご了承ください。
※会場内での許可のない写真撮影・録音・録画などはお断りしております。

■北とびあ国際音楽祭アドバイザー
大石 泰(音楽プロデューサー・東京藝術大学名誉教授) 木村 元(編集者・アルテスパブリッシング代表)
関根 敏子(音楽学) 田中 隆文(邦楽ジャーナル編集長)

お問い合わせ

(公財) 北区文化振興財団 / 03-5390-1221

▶ <https://kitabunka.or.jp/>

アナクレオンを 楽しむ講座をYouTubeで 公開予定!

講師: 関根 敏子(音楽学)
公開日: 2021年11月20日~12月12日

※公開日は都合により前後する場合があります。
北区文化振興財団HP内にアップします。



<https://kitabunka.or.jp/>



北とびあ国際音楽祭の情報を発信中!
@HIMF_info